

令和4年度第2回那珂市総合計画策定委員会 委員意見及び対応一覧

資料2

No.	発話者	分類	意見概要	意見詳細	会議での事務局の回答	対応
1	宮崎副委員長	第2部 後期基本計画 2 計画策定の考え方	後期基本計画の考え方のイメージ図	13ページについて、イメージ図に(1)～(4)に対応するものは確認できますが、(5)に対応するものはありません。漏れているのか、あえて表記していないのか教えていただきたい。 また、14ページについて、那珂ビジョンの事業については基本計画に引き継がれているということではないのでしょうか。	13ページについては、(5)の視点は基本構想に入っていることから、あえて表記はしていません。14ページについては、ご指摘の通りです。那珂ビジョンと基本計画の整合については、資料編に一覧を掲載する考えです。	わかりやすくするために土地利用についての図を追加しました。
2	勝井副委員長	第2部 後期基本計画 1 まちづくりの目標	後期基本計画のまちづくりの目標	12ページについて、まちづくりの目標は 大体これでいいと思っています。市民も生活は大変ですが、那珂市は住みよいまちでここにいることに満足している方が多いと思います。しかしこれを将来世代に残すことが大事。前期基本計画にない新たな視点として「持続可能性」が問われています。まちづくりの目標に「将来にわたって」とか「将来世代にわたって」という文言を入れてはどうでしょうか。	検討させていただきたいと思います。	「将来にわたって」を追加しました。
3	野田委員	施策1-1	自治会加入促進の取組	27ページについて、自治会加入率の指標が設定されていますが、具体的にどのような取組で進めていくのでしょうか。自治会でも努力はしていますが、なかなか加入してもらえない実情があります。高齢化で班長も断られることが増えてきています。土地購入や新築時に加入してもらえないと、後から加入してもらうのは難しい。	担当課に確認します。	現在いくつかの手法を検討していますが、具体的に示せる段階には至っていません。
4	増子委員	施策1-1	防災・防犯の視点からの自治会加入促進	41ページについて、自主防災組織のメンバーは全員自治会員というのが現状ですが、災害時に自治会に入っていないから声をかけないというわけにはいかない。防災・防犯の方面から自治会の重要性を啓発するということも考えられると思います。	担当課に確認します。	自治会への加入を呼びかけるチラシに、防犯・防災活動について掲載して、災害時や困ったときに協力して地域を守る共助の重要性を伝え、自治会への加入を呼びかけています。
5	勝井副委員長	施策1-1	自治会加入促進の取組	私も昨年班長を務めました。若い人は自治会や地区まちづくり委員会の活動を知らないことが課題なのだと思います。参加意識を高めていく支援がほしい。現在は、年寄りがコミュニティを支えるしかない状況です。若い人に災害時や子育て支援において、今後コミュニティがますます重要になっていくことを知っていただきたい。 27ページについて、PRや新たな手法という表記がありますが、具体的なものはあるのでしょうか。検討いただきたい。	担当課に確認します。	現在いくつかの手法を検討していますが、具体的に示せる段階には至っていません。 一度総合計画上には、「新たな加入促進策」と記載しましたが、現段階でお示しできる案がない状況であることから次のように改めることとしました。 ●市民自治組織と連携した取組により、自治会への加入促進や退会抑制に努めます。  新たな手法での加入促進については、引き続き検討していきたいと考えています。  「まちづくり活動に取り組んでいる団体などの活動を広く市民にPR」の内容については、 ・協まち・カフェにおいて、団体の日頃の活動を紹介するポスターを掲示し、多様な団体がまちづくりに取り組んでいることをPRしています。 ・市HPに市民自治組織情報掲示板を開設し、市民自治組織の様々な活動を周知しています。 ・未加入者へ自治会の活動紹介を含めた加入促進チラシを配付しています。 などがあります。
6	後藤委員	施策2-1	防災幼児教育	防災訓練は自治会しか参加していないので、災害時に有効かということでは難しいと思います。防災幼児教育が大事だと思います。消防団では各幼稚園に花火指導を行っています。そうした子どもに対する取組があるといいと思います。	子どもに対する防災啓発については44ページに記載しており、引き続き取り組んでいきたいと考えています。	

令和4年度第2回那珂市総合計画策定委員会 委員意見及び対応一覧

資料2

No.	発話者	分類	意見概要	意見詳細	会議での事務局の回答	対応
7	岡田委員	施策1-1	自治会加入率	27ページの自治会加入率の指標設定には疑問があります。全体的にすく前向きな内容の計画だと思うが、そのもとになるものが自治会加入率。他の自治体の取組も参考にしながら、取り組んでいただきたい。	指標と実態の乖離についてのご指摘はもってませんが、目標なので向上を目指す必要があります。指標設定について検討はしますが、目標であるという部分をご理解いただきたいと思います。	
8	仲田委員	施策5-1	農業の担い手	農業の担い手確保として、認定農業者の規模拡大支援を進める方向性なのだと思います。田についてはまだ手がかからないからいいのですが、私のところは畑がかなりあります。若い人も、畑は借りてもなかなか手は回らないと言っています。認定農業者の増加を図る上で、何か考えはありますか。	ご指摘のように、畑のほうが耕作者は見つかりづらいということはありません。しかし、新規就農を希望される方には、畑作を希望する方も多い。畑の提供希望があったときには、農政課と農業委員会が連携しながら近隣の認定農業者とのマッチングを行っています。また、人・農地プランを策定するなど、農地の問題については随時検討していると聞いています。	
9	松淵委員	施策5-2	企業誘致	129ページについて、那珂西部工業団地が5ha残っており、企業誘致をずっと書いていますが、グローバルな誘致活動も考えていただきたい。日本は30年間賃金が上がっていないためか、中国が国内に工場を建てるような動きもあります。海外の企業誘致も検討し、雇用促進や移住につなげていく必要があると思います。	総合計画に具体的に書くかどうかは検討しますが、視点としては参考にしたいと思います。	
10	三瓶委員	施策6-3	窓口サービスの充実	145、146ページについて、窓口サービスが充実していると感じる割合が指標にあります。満足していない理由を分析し、デジタル化などで解消していくことが重要だと思います。	今後検討していきたいと思います。	令和3年度市民アンケートから (抜粋) ・発行申請書に記入等が煩わしい ・公的証明の金額が高い ・待ち時間が少なくていい ・市民課はいつも混雑している。窓口を増やしてほしい ・家族の死亡手続をした際に必要な手続を1箇所ですべて済ませ、わかりやすくスムーズに手続を行うことができた。  このことからスムーズな申請、簡単な手続を市民が求めていることがわかります。 タブレットを使用した説明や電子申請などで市民の満足度を上げられるのではないかと考えられ、このような取組も含めて窓口サービスの充実を図る取組を検討していきます。
11	勝井副委員長	施策5-3	歴史資産を観光資源として活用	118ページについて、現在の土地利用方針は地域活性化の視点に欠けていると感じます。歴史文化の継承は進んでいますが、観光資源として活用する取組は遅れています。茨城空港も近いことから、インバウンドなどに取り組んでもらいたい。瓜連や額田には歴史があるが、グーグル検索をしてもなかなか出てこない。発信を頑張ってもらいたい。市内には外国人もいるので、観光に関して参加してもらい、外国人の目から見た那珂市という視点で発信してほしい。		施策4-5 基本事業1 6つ目の●に「市内に残る歴史資産や伝統文化については、郷土への愛着心や誇りを醸成するために活用するほか、産業や観光の振興を図るための地域資源として活用を進めます。」と明記しており、方針としては示しています。観光資源として活用するよう引き続き取り組んでいきます。
12	稲川委員	施策4-1	中学校部活動の地域移行	114ページについて、中学校の部活動の地域移行については、市としてはどのくらいの検討状況なのかお知らせいただきたい。	今後進めるべき課題と認識しています。関係団体にお話はしているものの、現時点で方針は定まっています。今後検討していきたいです。(学校教育課長)	

令和4年度第2回那珂市総合計画策定委員会 委員意見及び対応一覧

資料2

No.	発話者	分類	意見概要	意見詳細	会議での事務局の回答	対応
13	木内委員	施策5-2	企業との連携	弊社(木内酒造)は、那珂市と何かコラボできたらいいなと社内では話は上がるのですが、あまりそうした動きはなく、むしろ県南からのアプローチがある。もしお声がかかれば、全面的に協力するつもりでいます。	意見として承ります。	令和4年8月25日、木内酒造㈱と「包括連携協力に関する協定」を締結しました。 この協定により、地域産品の開発、観光振興、防災及び災害対策についてなど、あらゆる分野で地域の発展と市民サービスの向上に資する体制が取られることとなります。
14	山口委員	施策5-2	道の駅	前回の資料の課題にも挙げられていましたが、那珂市の観光が充実できるかということは重要と思っています。道の駅の持続可能な運営とはどのようなものでしょうか。また市としてどのような道の駅を理想としているのでしょうか。	運営体制は検討中です。道の駅としては後発になりますので、多くの先進事例を見ながら検討します。道の駅は「那珂市ならではの「目的場所になる」ということを目指し検討しています。	
15	中島委員	施策5-2	企業誘致	那珂市は住みやすいまちとして評価されていると思いますが、働けるまちというイメージは弱いと思います。既にある企業の周知や企業誘致が重要だと思います。	水戸市やひたちなか市に働き手をとられているという状況があります。市としても頑張らないといけないと思っています。	
16	小針委員	施策6-3	デジタルデバインド	DXを踏まえた窓口サービスを進めるとありますが、アルバイトをしていると、高齢者がタッチパネルの理解が難しいということがあった。デジタル化は重要ですが、誰も置いていかないサービスを検討する必要があると思います。	窓口サービスのデジタル化を進める一方で、従来のものは続けていく必要があると考えています。社会の動向に合わせて、その比率を変えていくというイメージです。 この秋、高齢者向けスマートフォン教室を行うなど、市としてもデジタルデバインドへの対応にも取り組んでいます。	
17	宮崎副委員長	全般	重要施策の強調	素案全体について、総花的で何に力を入れるのが見づらいと思います。重要施策を明確にする必要があるのではないのでしょうか。 また、総合計画本編はもう少しコンパクトな冊子にできないでしょうか。概要版は市民に見てもらえるような内容にしてほしいと思います。	素案の内容については検討します。また概要版についても、そうした視点を踏まえて編集したいと思います。	基本計画の前のページにイメージ図を追加することで対応したいと考えています。